

あきた芸術劇場ミルハス

ミルハス・タイムズ

# The Mille Has Times

## 迫力の歌声、物語紡ぐ



2024  
SPRING  
VOL.8

### 関西二期会オペラ「カルメン」

Interview

演出家・藤田俊太郎さん(秋田市出身)講演

ピアニスト・佐藤卓史さん(秋田市出身)

# 「総合芸術」で観客魅了

オペラ「カルメン」

## アトリオン合唱団も出演



アトリオン少年少女合唱団に所属する小学生から高校生まで20人も出演。はつらつとした歌と演技を披露した

関西二期会(大阪市)によるオペラ公演「カルメン」が1月21日、あきた芸術劇場ミルハス大ホールで開かれた。出演者とオーケストラ合わせて約130人が音楽や舞台美術、衣装、ダンスなどによる総合芸術と言われるオペラの妙味を示し、客席から拍手だけでなく「ブラボー」の声も飛んだ。

物語の舞台は19世紀スペイン。奔放に生きる女工カルメンと兵士ドン・ホセが運命的に出会う。しかし恋はもつれ、拒絶されたホセはついにカルメンを殺してしまう。

公演では第1幕の前奏曲から「ハバネラ」「闘牛士の歌」など、広く知られたジョルジュ・ビゼーの名曲が物語を導いた。カルメン役の糀谷栄里子さん(メゾソプラノ)とホセ役の水口健次さん(テノール)らが情感のこもったアリア(独唱)や二重奏などを披露。観客を物語に引き込んだ。

第1幕と第4幕にはアトリオン少年少女合唱団も出演。県内の小学生から高校生までの男女20人が昨年11月以降の練習の成果を発揮し、元気な歌や演技を披露した。



ステージ両脇に設置された字幕装置に歌の翻訳を表示。2階席からだすとステージ手前にオーケストラピットが見える

## Mini Interview

鈴木恵里奈さん(指揮)

関西二期会オペラ「カルメン」でオーケストラを指揮した鈴木恵里奈さんにオペラの魅力などを聞いた。

—「カルメン」の見どころは？

まず有名な曲が多い。親近感も持てて楽しみやすいはずだ。

単に恋して嫉妬して殺した—という物語ではない。カルメンがカード占いをし、自分もホセも死ぬという予見が出る。ジプシーの彼女はそれを「決まったこと」と受け止めたはず。その後ホセを拒絶するのは新しい恋人の登場もあるが、根底には(運命を変えて)ホセを死なせたくないとの思いがあったのではないかと。

また、今回の演出では特にそうだが、ついにカルメンを刺したホセは満足の表情を浮かべる。「これでカルメンは自分のもの」というゆがんだ愛、狂気。そうした深い心の動きを感じてほしい。



オーケストラピットで指揮棒を振るう鈴木さん

音楽のライブ感もどうぞ

## 深い心の動き感じて

—魅力的なオペラはほかにも？

個人的にはプッチーニの「ラ・ボエーム」がお薦め。何より音楽が美しい。オペラはまず歌詞があり、それを音楽で表現する。プッチーニはそれに長けていた。イタリア語と音楽が絶妙にマッチし色彩感も豊か。初めてオペラを観る人もきっと楽しめる。

—よりオペラを楽しむには？

オペラはある意味とてもアナログ。歌手の調子やオーケストラの

テンションが影響し合い、その時限りの音楽が生み出される。そのライブ感を味わってほしい。ぜひ、笑ったり拍手したりしながら観てもらいたい。われわれの励みにもなる。



愛憎の末、ホセ(左)はカルメン(右)を刺してしまふ

藤田朋佳さん(18)  
合唱団、素晴らしかった

初めてオペラを鑑賞した。カルメンの音楽は知っていたが、劇中を通じて聴くことでいい勉強になった。友人がアトリオン少年少女合唱団に所属しており、今回出演したが素晴らしかった。貴重な機会となった。

福田亨さん(67)  
翻訳表示が理解の助け

カルメン役をはじめとして歌はもちろん、オーケストラも良かった。ステージわきに翻訳が表示され理解の助けになった。また秋田でオペラ公演があればぜひ観たい。周囲にも薦められる素晴らしさだった。

中西麻理子さん(59)  
音楽の作り込み丁寧

アトリオン少年少女合唱団の合唱に感動した。2階席での鑑賞だったが、指揮者の先生がすごく丁寧に音楽を作っていたのが印象的だった。カルメンは不滅の愛の物語。本当に素晴らしかった。

佐々木浩典さん(37)  
「ハバネラ」聴き鳥肌が

秋田で観られたのがうれしい。ビゼーの曲はふだんから聴くが、生の演奏は体中に響くようだった。「ハバネラ」で鳥肌が立った。舞台美術も素晴らしく、自分が今どこにいるのが忘れてしまいそうになった。

## 観客の声

# 山響公演 in ミルハス 団員たちの 意気を感じた



山響と共演した佐藤卓史さん。  
自身が選定したヤマハCFXで演奏した

「山形交響楽団特別公演inミルハス」が3月3日、大ホールで開かれた。秋田市出身の佐々木新平さん(ミルハス・アドバイザー)が指揮し、同じく秋田市出身のピアニスト佐藤卓史さんが共演。ウェーバー「歌劇『魔弾の射手』J.277序曲」やベートーヴェン「ピアノ協奏曲第1番ハ長調作品15」などを披露した。佐藤さんは、ミルハスのため2年近く前に自ら選定したフル・コンサート・グランドピアノ「ヤマハCFX」を初めて公演で演奏。その佐藤さんに公演後、話を聞いた。

## Interview インタビュー

共演のピアニスト

佐藤卓史さん(秋田市出身)

### 自身選定の ピアノに手応え

—山響とは初共演だった。

本当に素晴らしかった。山響の皆さんの演奏から、ちょっと室内楽的なというか、アンサンブルをやるという気持ちが入ってきた。一緒に音楽をつくるわくわく感があつた。オーケストラのノリの良さを感じながら弾けた。

—自身が選定したピアノを実際に公演で弾いてみてどうだった。

CFXは全般にタッチがとても安定していて弾きやすい。ピアニストがいろいろなことを繊細にできるアクションを持っている。ミルハスのCFXもまさにそう。出したいニュアンスが指からちゃんと伝わる。音色感はずごく明るい。少し軽い感じの古典的な音楽とか室内楽などに向いている。今回はコンチェルトということで、ソロに関して未知数な部分もあったが、調整も十分なようでとても輝かしい音

になっていた。元々の良さも残されている。この1台を選んでよかったと思った。

—大ホールの響きはどう感じられたか。

音が行ったきり返ってこないホールや、返ってき過ぎるホールもあるが、ミルハスの大ホールはどちらでもない。聞きたい音がすっきりと返ってくる。隅々まで音が伝わっていくのが感じられた。

—これから取り組みたいことは。

当面はシューベルトの全曲演奏会に力を注ぐ。15年ぐらいかかる企画の3分の2ぐらいまで来た。まずはこれを完結させたい。

弾くこと以外にも興味が湧いている。実は今日弾いたピアノ協奏曲の第1楽章

は、ベートーヴェンが途中までしか書いていないのを私が書き足して演奏した。こうした機会に作曲や編曲をしたことはあったが、より本格的に作曲して披露できたらいいと思っている。まずはいろいろ勉強をしていきたい。

—秋田について思うことは。

私が小学1年生のときにアトリオンができて、世界中のいろんなアーティストの演奏を聴くうちに音楽家になりたいと思うようになった。ミルハスで聴いた音楽に感動し音楽の道を目指す子たちが出てきたらいいなと思う。そのために私もいい演奏をどんどん届けたい。



佐々木新平さんの指揮で演奏する山形交響楽団

## 「ラヴ・レターズ」ミルハス公演盛況、読売演劇大賞受賞も

# 演出家 藤田俊太郎さん(秋田市出身)講演

国内で1990年以降500回を超える公演を重ね、朗読劇の金字塔とされる「ラヴ・レターズ」のミルハス公演が1月28日、中ホールで開かれた。若村麻由美さんと岡本圭人さんが出演し満員の客席に感動の波を起こした。演出を担当した秋田市出身の藤田俊太郎さん(ミルハス・アドバイザー)は2月27日、第31回読売演劇大賞(読売新聞社主催)の年間グランプリに当たる大賞を初めて受賞した。ミルハス公演の前日に中ホールで講演した藤田さんの言葉の中から、演劇への熱い思いなどを紹介する。

聴講者は約100人。藤田さんは自身の演出作品に触れながら、演出の手法や考え方について話した。

まず演劇の魅力について「どの公演も1回きりであり、作品を通じてお客様と生で交流できること」と話した。作品づくりについては「劇場という非日常に皆さんを誘うには開演10分が勝負だ」として冒頭の作り込みに注力していることを明かした。

演出作の中から、まずはミュージカル「NINE」(2020年)を紹介。ミュージカルが一つの完成を見たときとされるのが20世紀と意外に新しい芸術分野である点を示した上で、「ミュージカルは華やかなだけでなく、人種とか格差とか戦争とか20世紀のさまざまな面を映し出してきた。『NINE』初演は1980年代。僕は今の価値観で作品を読み解き、再構築した」と述べた。さらに「NINE」という作品名や作品冒頭で女性たちが「ラララ」と歌うことの意味を客席に問い掛け、「作家が何を書こうとしたのか、なぜこの音階なのか。言霊(ことだま)や音霊(おとだま)を一つ一つ追求するのが大事だ」と話した。

続いて紹介した音楽劇「天保十二年のシェイクスピア」(2020年)に関連し、「時代考証は徹底的にやるべきだ。作品がどういう背景で作られ、どういう設定を持っているのかを追求していくと(演出の)答えが見えてくる」と強調。ほかの作品にも言及しつつ、「今の時代が求める価値観によって見えなくなってしまうものもある。そのことに自覚的でいたい」と話した。

「ラグタイム」(2023年)、「東京ローズ」(同)などの紹介も通じ、繰り返し示したのは「民衆」への視線。「どうやれば民衆の視点で作れるのか常に考えている」などと述べた。

「東京ローズ」では6人の女性が、主役の「アイバ・

## 演劇への思い、熱く語る



講演する藤田さん

### ふじた・しゅんたろう

1980年、秋田市生まれ。2005年、東京芸大美術学部先端芸術表現科卒。同年から2015年まで蜷川幸雄作品に演出助手として関わる。2014年にメジャーデビュー。演出作に「絢爛豪華 祝祭音楽劇『天保十二年のシェイクスピア』」、ミュージカル「NINE」、「ラグタイム」、ミュージカル「東京ローズ」など。ミルハスで上演された演出作は2022年12月のミュージカル「ジャージー・ボーイズ」、2023年4月の「ラビット・ホール」、2024年1月の朗読劇「ラヴ・レターズ」。メジャーデビュー作のミュージカル「ザ・ビューティフル・ゲーム」で第22回読売演劇大賞の杉村春子賞(新人賞)を受賞。同大賞での受賞は第24回最優秀作品賞、第28回最優秀演出家賞、第31回のグランプリおよび最優秀演出家賞など。ほかに第42回菊田一夫演劇賞、第42回松尾芸能賞優秀賞。

トグリ」をリレー方式で演じただけでなく男性の役を含むすべてを演じたことを紹介。その試みについて「演劇の創造力の面白さ」「既存概念を打破できるのが演劇。原初的でありながら最新になれる」と自負を示した。

最後に客席から「これから手掛けたいもの」を問われ、「オリジナルの作品やミュージカルを作りたい。今まで学び、読み解いてきたことをどう伝えられるのか。それが今後の10年、15年だと決意している」と力強く話した。

※作品名後ろのかっこ内は藤田さん演出による上演年。

# 330人、「誇り」高らかに

## 2024あきた吹奏楽の日



約330人がステージの  
ひな壇を埋め、迫力の合唱を披露

## 「大いなる秋田」大合唱 佐々木新平さん(秋田市出身)が指揮

「2024あきた吹奏楽の日～大いなる秋田 定期公演～」が1月6日、あきた芸術劇場ミルハスの大ホールで開かれた。第3部「合唱とブラスのための楽曲 大いなる秋田」は、秋田市出身の佐々木新平さんが指揮した。合唱には公募などで集まった約330人が参加。県内若手で構成した吹奏楽団「社会人スーパーバンド」の演奏に合わせ、迫力の大合唱を披露した。

「大いなる秋田」は1968年に制作された。第3楽章に挿入された秋田県民歌をはじめ今も広く浸透している。全国有数の県民歌とされるこの歌を、世代を超え引き継いでいこうという関係者らの思いが、「定期公演」という公演のサブタイトルに込められている。

合唱参加者の多くは中高生。大人を含め、初めて一堂に会



前日のリハーサルで  
合唱指導する佐々木さん

したのはミルハス小ホールAで開かれた前日のリハーサルだった。冒頭、指揮する佐々木さんは「ソウルソングと言うべきか、秋田っていいなとグッとくる素晴らしい曲だ。(県民歌、市民歌として)ここまで大規模でここまで浸透している曲はほかにない。皆さんが大人になって家族ができていざさんばあさんになっても継承していつてもらいたい」と呼び掛けた。

引き続き佐々木さんは楽譜の読み取り方や感情の込め方などについてユーモアを交えながら分かりやすく説明した。重要なポイントでは、歌い方の良い例と悪い例を自ら歌ってみせながら指導。参加者たちはそれぞれ事前の練習成果もあって急速な進歩を見せていた。

### 合唱 参加者の声



由利本荘市  
小松雅美さん(57)  
中高生らの歌に感動

小学生の頃から「大いなる秋田」を歌い続けている。一緒に歌った中高生らが素晴らしい。しっかり練習してきた。今日は恩返しのためだったが、感動し涙が出て、いただいたものの方が大きかった。この公演が今後も続いてほしい。

秋田市  
山上希愛さん(山王中2年生)  
歌うと元気出てくる

歌っていて元気が出てくるような歌だ。声と音を一つにして、お客さんに届けることができてよかった。1カ月ぐらい前に楽譜を渡され練習を重ねた。佐々木さんの指導は分かりやすく、求められていることを何とか実現したいと思えた。

秋田市  
大山美雨さん(小学2年生)  
指導を受け気付きも

緊張したが、たくさんのお客さんが聴いてくれてうれしかった。佐々木さんに指導してもらい、自分が分からないまま歌っていることがあると気付いてうれしかった。「大いなる秋田」は、歌詞は難しいがメロディーがきれい。

2024年 4月・5月・6月

## 公演・イベント情報

4/6(土)

●大ホール  
M-1グランプリ2023  
スペシャルツアー in 秋田



①12:30 ②16:00開演  
【お問い合わせ】  
秋田朝日放送事業部 TEL:018-888-1505

4/19(金)

●大ホール  
十八世中村勘三郎  
十三回忌追善  
中村勘九郎 中村七之助  
春暁歌舞伎特別公演2024



①11:00 ②15:00開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

5/1(水)

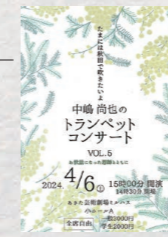
●中ホール  
夢スター  
春・秋コンサート



18:00開演  
【お問い合わせ】  
夢グループ TEL:0570-666-443

4/6(土)

●小ホールA  
たまには秋田で  
吹きたいよ!  
中嶋尚也のトランペット  
コンサート Vol.5



15:00開演  
【お問い合わせ】  
(中嶋)TEL:080-6008-5702

4/20(土)

●中ホール  
柿原徹也&KENN  
声優スペシャル  
トークショー



14:00開演  
【お問い合わせ】  
秋田テレビ営業推進事業部 TEL:018-866-8030

5/5(日)

●大ホール  
藤井フミヤ 40th  
Anniversary Tour  
2023-2024



※チケット完売  
15:30開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

4/8(月)

●大ホール  
中国雑技団  
MIRACLE☆ZATSUGI



①14:00 ②18:30開演  
【お問い合わせ】  
MIN-ON仙台 TEL:022-355-4772

4/20(土)・21(日)

●大ホール  
高橋 優 初の47都道府県  
弾き語りツアー2023~2024  
「ONE STROKE SHOW  
～一撃一笑～」



※チケット完売  
20日 17:00開演/21日 16:00開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

5/18(土)

●中ホール  
朝花美穂  
歌芝居コンサート2024



13:30開演  
【お問い合わせ】  
世界芸能 TEL:022-222-4997

4/13(土)・14(日)

●大ホール  
福田こうへい  
コンサートツアー2024



13日 14:00開演/14日 12:00開演  
【お問い合わせ】  
コンサート事務局 TEL:0120-124-200

4/27(土)

●大ホール  
秋田県民共済  
presents  
めざましクラシックス  
in 秋田 Vol.22



※チケット完売  
15:00開演  
【お問い合わせ】  
秋田テレビ営業推進事業部 TEL:018-866-8030

5/30(木)

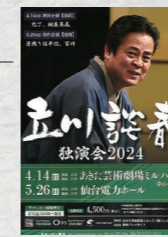
●大ホール  
島津亜矢  
コンサート2024



13:30開演  
【お問い合わせ】  
世界芸能 TEL:022-222-4997

4/14(日)

●中ホール  
立川談春  
独演会2024



15:00開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

4/27(土)

●中ホール  
はやしべさとし  
三十歳の旅立ち  
～叙情歌を道づれに～



15:00開演  
【お問い合わせ】  
キョードー東北 TEL:022-217-7788

6/2(日) 18:30開演

●中ホール  
松本英子 25th Anniversary Concert

【お問い合わせ】ユノオフィス TEL:03-4555-9630

6/17(月) 13:30開演

●大ホール  
三山ひろし コンサート2024

【お問い合わせ】世界芸能 TEL:022-222-4997

※掲載しているのは公演・イベントの一部です。情報は3月中旬時点のもので、「チケット完売」の記載がない公演でもお読みになった時点で完売している場合があります。ご了承ください。

# Mille Has information

## ミルハスclub 令和6年度 DM会員を募集

ミルハスは、ミルハスclubの令和6年度DM(ダイレクトメール)会員を募集しています。会員にはミルハスの話題を紹介する「ミルハス・タイムズ」(年4回発行)やミルハスで開催する公演のチラシを随時送付するほか、ミルハス主催事業など指定公演のチケットを先行販売します。「ミルハス・タイムズ」の送付などに充てるため、年会費1000円が必要となります。有効期間は来年3月末まで。

申し込みは所定の申込書に必要事項を記入し、ミルハス管理事務室に持参するか郵送します。申込書はミルハスで配布しており、ウェブサイトからダウンロードすることもできます。

年会費無料、有効期限なしのウェブ会員も引き続き募集していますので、ウェブサイトからお手続きください。

特典の内容、申し込み方法など

### DM会員

※申込書はミルハスで配布しているほか、ウェブサイトからダウンロードできます

特典	情報誌「ミルハス・タイムズ」などの送付 ミルハスの話題を紹介する「ミルハス・タイムズ」(年4回発行)や、ミルハスで開催予定の公演のチラシなどを随時送付	指定公演チケットの先行販売 ミルハス主催事業など指定公演のチケットを、一般販売の前に予約・購入できる(販売枠が上限に達した場合は購入不可。1人当たりの購入枚数を制限する場合もあり)		
年会費	1,000円 情報誌の送付などに充てる。管理事務室での現金払いか指定口座への銀行振り込み	有効期間	当該年度の末日まで	会員は年度ごとに更新
申し込み方法	所定の申込書※に必要事項を記入し、管理事務室へ持参または郵送	会員証	有	

### ウェブ会員

特典	メールマガジンの配信 ミルハスで開催される公演の日程、チケット発売・料金などの情報を希望者に随時配信	指定公演チケットの先行販売	
年会費	無料	有効期間	期限なし
申し込み方法	ウェブサイトで行う	会員証	無



人生の中で一度は経験してみたいことというアンケートがかつてあった。上位にあったのが「プロ野球の監督」と「オーケストラの指揮者」だった。きっとできたら幸せだろうと思うであろうし、多くの人にとってのあこがれでもあるのだろう▼3

月3日にあきた芸術劇場大ホールで開かれた山形交響楽団特別公演で指揮を執ったのが秋田市出身の佐々木新平さんである。素晴らしい演奏を聴きながら、佐々木さんの一挙手一投足に注目してステージを眺めた。流れるような指揮で、しかも華麗であった。演奏全体にしっかりとした構想を持ち、次のフレーズを見据えながら楽団をけん引していく姿からは高い品格と品性を感じられた▼素人が「一度でいいからやってみたい」と思っても、一朝一夕にできるものではないことをあらためて感じた。舞台上に立ち、スポットを浴びるまでには想像もつかないような努力を重ねてきたに違いない▼佐々木さんの指揮とともに、ピアノ

は同じく秋田市出身の佐藤卓史さんが務めるという豪華な公演は圧巻。音楽の力をまざまざと見せつけられた思いである。演奏後はしばらく拍手が鳴りやむことはなかった。指揮者、演奏者、そして聴衆が一体となり一つの物語を紡ぎあげたといっても過言ではないだろう▼佐々木さんは「ミルハスが開館した時からの山響を呼びたいという夢がなかった。定期的に帰ってきたい。またお目にかかる日を楽しみにしています」と聴衆に向かって話した。ぜひ実現したい▼そして近い将来、私たちの秋田県にもプロのオーケストラが誕生してくれたらと思う。吹奏楽が活発な秋田にはその素地はあるはずである。決して夢ではない。



あきた芸術劇場  
Akita Arts theatre  
ミルハス

<発行>あきた芸術劇場ミルハス  
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2番52号  
TEL.018-838-5822 FAX.018-838-5825  
E-mail/info@akiat.jp https://akiat.jp

